

# 浅ヶ部・五ヶ村 周遊MAP



**浅ヶ部八十八ヶ所霊場巡り**  
浅ヶ部地区では、天保3年から5年にかけて大飢饉にあい、庄屋が藩に訴えて肥後米を買い付け、難を乗り越えました。その時近郷から得た浄財により、有志が四国八十八ヶ所の寺院の土をもらって帰り、天保6年3月21日に浅ヶ部各地に開眼・開場されました。八十八体の御本尊は全て同一寸法で、高千穂地方に多くの庚申塔や仁王石像を刻している延岡・舞野の石職人利吉が制作しております。原石は田原村有志の寄進といわれています。毎月21日には霊場の参拝者が多く集いますが、旧暦1月21日の初大師、旧暦の3月21日の弘法大師の忌日、旧暦7月21日には各お茶屋さんでお茶や赤飯等のお接待があってさらににぎわいを見せます。旧暦3月21日は、祖先の慰霊供養「施餓鬼(せがき)法要」があり、前日の20日は焼山寺での「おこもり」、21日にかけて八十八ヶ所を歩いて回る「おやまかけ」が行われます。



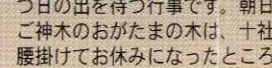
浅ヶ部地区

**高千穂温泉 (☎0982-72-7777)**  
低張性弱アルカリ性の泉質は疲労回復に最適。日頃の疲れを洗い流し、心ゆくまでくつろいでください。シャンプーと石けんは常備。  
◆営業時間/午前10時～午後10時 (休館日毎月第1木曜日)  
◆利用料金/大人(高校生以上)500円 中学生300円 小学生200円



浅ヶ部地区

**梅木山長福寺跡 (浅ヶ部石塔群)**  
梅木山長福寺跡は、古くから「堂ん森」といわれ延宝2年(1674)の仏帳にも記されています。昭和61年1月、地元公民館の協力で一帯に埋まっていた石塔発掘が行われ、鎌倉時代から室町時代末期にかけて築かれた五輪塔を中心とした多くの石塔が復元されました。三田井一帯を支配した一族の墓地、菩提寺の跡と考えられ、石塔群としては郡内で最大規模です。



浅ヶ部地区

**安楽山徳玄寺 (曹洞宗)**  
徳玄寺創建の年代ははっきりしませんが、1200年前後の後鳥羽天皇第三皇子寒厳義尹禪師の開山といわれています。阿彌陀如来を本尊とし、高千穂の領主三田井家の厚い尊崇を受けました。寒厳義尹禪師による高麗版大般若経600巻中150巻を所蔵しています。



浅ヶ部地区

**天道山**  
浅ヶ部地区の中央に位置し三田井中心部から遠くは二上山まで一望できます。太陽信仰の山で、初冬の旧暦10月14日の夜、翌年もお日様の恵があるように願う「お日待ちは」、注連縄を張り、焚火を絶やさず、お酒を酌み交わしつつ日の出を待つ行事です。朝日が昇る頃、神事が執り行われます。歳神ご神木のおがたまの木は、十社大明神が諸和久の乳母の家に参拝の折、腰掛けてお休みになったところと伝えられています。南側斜面に正一位磐瀬稲荷大明神の社があり、2月の初午のお祭りには神楽が奉納されます。



五ヶ村地区

**天岩戸温泉 (☎0982-74-8288)**  
岩戸開き神話の残る「天岩戸」にあり泉質は弱アルカリ性。大浴場からの眺望は露天風呂のようです。シャンプーと石けんは常備。  
◆営業時間/午前10時～午後10時 (休館日毎月第3木曜日)  
◆利用料金/大人(高校生以上)300円 中学生200円 小学生100円



五ヶ村地区

**天岩戸神社**  
天照皇大神がお隠れになった天岩戸屋戸をご神体としてお祀りする西本宮と、天照皇大神をお祀りする東本宮がある。ご神域である天岩戸屋戸の直拝は社務所にお願ひすれば神職の案内がいただける。例祭日/西本宮5月2・3日、東本宮9月22・23日



五ヶ村地区

**神楽の館**  
明治初期に建てられた民家を移築して民宿として再建されました。神楽宿になったり、高千穂の様々な体験ツアーの中心になったり、村おこしの拠点としても重要な役割を果たしています。



五ヶ村地区

**歳神社**  
五穀豊穡の歳神を祀っています。建立年は不明ですが安置されている神像は平安時代のもので鑑定されています。高千穂神社から毎年参拝が行われ、歳神社からは米が奉納されていました。



五ヶ村地区

**天岩戸神楽発祥の地**  
この地には、天岩戸の前で天鈿女命がおもしろおかしく舞った後、神々が天照大神に捧げる天岩戸神楽を奉納したという伝説があります。この付近で出土した石刀が高千穂神社の微古館に所蔵。